

# 善養寺便り

第二十八号

令和三年 初夏号 発行 善養寺

門信徒の皆様、いかがお過ごしでしょうか。六月に入りかなり暑くなってきました。気がつけば今年もすでに半年が過ぎようとしています。

コロナ禍で外出をお控えになり、籠もりがちの方もいらっしゃると思います。さらに、季節は梅雨、益々蒸し暑くなります。オリンピックを控え、(あるのかな?)日本はまだまだ予断を許さない状況でしょう。

決定的な治療薬がない状況においては、万能でないにせよワクチン接種に勝る感染予防はないと思います。

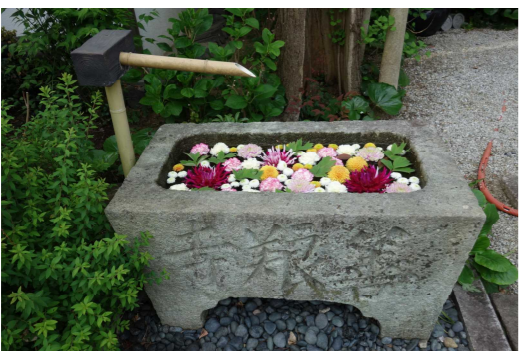
悪いニュースほど世間に広まりやすく、ふさがちになります。どうか、心の健康をお保ちください。

お寺としましては、七月も谷川先生の講演会があります。お気をつけてお参りいただき、心を軽くしていただければと思います。

さて、当善養寺は、今年は予定の法要行事はこれまでにすべて勤められております。

永代経法要は、二日目が緊急事態宣言発出日にあたりましたが、門信徒の皆様のご協力ご理解のもと無事に勤めました。他力とは一般に、他人の力などで自分に良い結果をもたらすような意味で使ったりしますが、本当はまったく違う意味です。しかしながら、私たちはどうしても自力(我執)から離れられない存在ですので、他力の真の意味を分かってほしいでしょう。

真宗のご法義は自己中心の私を目覚めさせるお話なのです。ですから、真宗はお聴聞を大切にします。



まりましたことは、まことに有り難いことでありました。今後ワクチン接種がどれくらいスピードで進むのかわかりませんが、これからも法要行事は開催します。どうぞお参りください。

境内のあじさい



## 【二〇二一年行事報告】

### ◆令和二年度第四回仏教講演会

昨年中止した法座です。今年三月三日、令和二年度第四回仏教講演会を行いました。

三月のご講師は、毎年安方哲爾師です。

師は今年、フェイスガードを着用してお話しくださり、いつもの独特な語り口調で、真宗の教義を説得力のある言葉でお話になります。

今回のお話は、コロナ禍の中における念仏者の生き方というまことに有り難いお話でありました。

念仏者の生き方とは、他力的な生き方をする。他力的な生き方とは、私にかけられた仏様の願いを聞いてゆく生き方、それは、私の人生のかかわった様々な周りの人の心も聞いてゆく生き方ではないか、というようなお話

### ◆令和三年善養寺墓苑春の彼岸会

三月二〇日(土・春分の日)、

午前十時より善養寺墓苑にて

春の彼岸会が勤まりました。

墓苑駐車場の名号碑にて読経、お焼香後、各家の墓前にて読経散華しました。

お彼岸とお盆に墓苑にて法会を勤めております。今回もコロナ禍の中に関わらず、多くの方がお参りくださいました。



### ◆令和三年永代経法要

四月二十四、二十五日には今年の永代経法要が勤まりました。二日間とも天候にも恵まれ、良き日和で多くの方にお参りいただきました。

出来得る限り官公庁のガイドラインに則った感染対策を施し、お昼のお齋時には飛沫防止のためにパーテーションを置き、フェイスシールド着用と“黙食“のご協力を願いました。皆様、大変静かにお齋弁当を召し上がってくださいました。

ご講師は、島根県から朋澤智弘師にお越しいただきました。二日間、味わい深い様々なお話があり、尊いご法義

ご法縁でありました。  
師のご法話の板書に、山本仏骨和上の歌が書かれてありましたので紹介します。和上わじょうとは、本願寺派における教学の大家の尊称です。  
「たすくると  
喚びかけられて  
やどらるる  
にげられもせず  
迷われもせず」  
山本仏骨

お念仏のまことがこめられたお言葉でありました。



◆令和三年仏教婦人会総会並びに第一回仏教講演会  
昨年は中止にしました、当山仏教婦人会の総会並びに第一回仏教講演会が五月二十六日に勤まりました。

例年、午前中から開催していましたが、今年はお齋もなしの午後のみとしました。今回は、お齋のかわりに、参加された方には、各地のご門徒様からいただいたいておりますお齋米で調理しました、炊き込みご飯をお持ち帰りいただきました。

講演会は、加古川市から宰務清子師にお越しいただき、オーボエ演奏を交えた、楽しく有り難いご法座を勤めていただきました。



楽器を伴うご法話をされる布教使さんは時々いらっしゃいますが、オーボエ演奏は珍しいと思います。住職は楽器は出来ませんが聴くのは大好きで、オーボエは憧れの楽器でしたので、生で聴くことが出来良かったです。事前にリクエストしていた「ガブリエルのオーボエ」という曲も演奏していただき、まことに心温まるひとときでありました。

します。祖父(前住)も高齢となりましたので、善養寺の法務活動などの少しでも支えになればと思います日々携わっております。

まだまだ未熟ではありますが、善養寺がより発展できるように精進してまいります。今後ともよろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆令和三年今後の予定

- ◆「仏教講演会」午後一時半 谷川弘顕師  
(第二回)七月十三日(火)  
(第三回)十二月十四日(火)
- ◆「秋の彼岸会第五回おてらくご桂雀々落語会」  
九月十八日(土)午後十三時半
- ◆「報恩講法要」  
十一月一日(月)二日(火) 鹿多証道師
- ◆八月「墓苑万灯会」「盆会」  
毎月第二金曜夜「お寺ヨガ」もやっています。

どうぞご参加を！

【ご報告】

◆前住職近況として

前住職は今年満九十二歳になりました。昨年から、傘寿を記念として自伝を執筆しています。主として、約五十年にわたる当山住職としての足跡をまとめていこうとすることです。すでに最終稿となり、今月下旬には完成し、いずれすべてのご門徒様にお渡ししたいとのことでした。

どのような内容か分かりませんが、またご笑覧いただければと思います。

◆後住あいさつ

こんにちは。後住の江尻慶之「えじりよしゆき」と申



総会にお越しの方に記念のご飯お菓子とお渡ししました

善養寺ホームページ

姫路 善養寺 で検索

